



半田高校

SSH通信



Vol. **2** 2022. 7. 8 愛知県立半田高等学校 SSH 部



参加者の声

～SSH 成果発表会～

- ・今までは参加案内のプリントだけでどんなものかあまり分からなかったが、実際にやった人の感想を聞いて進め方やどんな力が身につくのかわかった。
- ・自分にはムリだ、と思っていた国際的な交流や英語でのプレゼンテーションについての発表を聞き、とても興味がわきました。
- ・理数系が苦手だからやらない方がいいと思ってたが話を聞いて自分もできるかもしれないと思えた。
- ・同級生で活躍している人を知って刺激を受けた
- ・やっと聴衆の前で発表できて楽しかったです。
- ・大勢の前で発表するのは緊張したけれど、楽しむことができました。発表は3年生の先輩と一緒にやったので、発表の準備を通して関わりを持つことができ、楽しかったです。

～アントレプレナーシップ講演会～

- ・3人の卒業生の話を聞いて人それぞれの道があることがよくわかった。
- ・いろいろな職種や人生のイベントがあって人生なにかあるかわからなくておもしろいと思った。
- ・人生何があってもなんとかなると思った
- ・大人になって、自分の高校生活をしっかりと語れるようになるために充実した高校生活を送っていきたいと思った。
- ・私自身、順位や点数を気にしてしまったり、失敗を恐れて挑戦できなかったりするところがあるため、御三方の話を聞いて、自分のやりたいこと、興味があることに積極的に参加し、今を全力で楽しもうと思いました。



SSH 事業紹介

～A' ACS(国際オンラインシンポジウム)～

A' ACS(Asia Academic and Cultural Sessions)とは？

新型コロナウイルスの拡大により、思うように国際交流ができない中、新しい形の国際交流の在り方を探し、早稲田大学本庄高等学院、半田高校が主催となり、タイの MWITS(Mahidol Wittayanusorn School)、シンガポールの NJC(National Junior College)の4校でオンラインシンポジウムを企画し、開催に至りました。シンポジウムは4校の生徒たちが Zoom で話し合いながら一から企画し、アイデアを出し合い運営します。内容は研究発表、文化紹介、地域紹介、学校紹介など多岐にわたり、Zoom 経由であっても活発に意見を交わし、国際的な視野が広がる良い機会です。詳しくは 岩井先生 or 野田先生 まで。



講師からのコメント

～アントレプレナーシップ講演会～

1. 奥野秀夫さんのコメント

先日のアントレプレナーシップ講演会、如何でしたか？皆さんそれぞれ色々な感じ方があったかと思います。その感じ方に正解も不正解もありません。自分自身が感じたこと。これが全てで、誰にも何も評価出来ません。でも、これが全て自分自身の人生の糧になります。そんな高校時代という、おそらく人生の中で最も多感な時代に、皆さんと出会えたことは本当に嬉しく感じました。はっきり言って、みなさん本当に優秀で、これから無限に広がるステージが待っています。楽しみです！勉強はもちろん、スポーツも、恋愛も、この素晴らしい人生のステージを謳歌してくださいね。北岡(豊来家幸輝)も澤田(喜餅)も、そして私も、高校時代は本当に人生を謳歌していました。是非、この素晴らしい高校で、引き続き頑張ってください！心の底から応援しています！(裏へ続く)

校内生徒限定

サイエンスコミュニケーション参加申込書

上の線で切り取って担任の先生に提出してください。右の QR コードからも申込み可能です。

〆切：7月19日(火)

() 年 () 組 () 番 氏名 ()





アントレプレナーシップ講演会・講師からのコメント

2. 太神楽曲芸師 豊来家幸輝さんのコメント

在校生の皆様、講演会では太神楽の鑑賞、話を聞いて頂きありがとうございました。まさか自分が講師の立場として登壇し、現役の半高生にスピーチをするとは夢にも思いませんでした。卒業して30年は僕にとって激動でした。夢や希望にあふれて過ごせたはずの20代30代は困難続きで、おおきく道を外れかかったこともありました。ただその時に、厳しく指摘をしてくれる人や目標となる尊敬すべき人のおかげで踏みとどまることが出来ました。どん底まで落ちた時に大きな流れに身を任せたところから人生が好転し始めた気がします。

半高生の皆さんは成績では優秀だと思いますが、社会に出れば必ず挫折が待っています。生きていく力という意味では、非力である事を自覚しておいてください。社会に出たら頭でっかちにならずに、謙虚に学ぶ姿勢をもって周りの人を大切にしていけば、明るく楽しい人生を送れると思います！

3. 英語落語家・パブリックスピーカー 喜餅さんのコメント

在校生の皆さん、司会を務めました喜餅（きもち）です。お世話になりました。

「アントレプレナーシップ」「(SSHであることから)科学の側面」という宿題を頂戴し、30歳以上の差を埋め、どうやって興味深い内容にするか苦心しました。思い浮かんだのは「(三角形の)相似」というものでした。私達の経験と皆さんの経験、共通項があるはずだ、そんな意識で臨みました。有意義な空気を最後まで保てたのではないかなと思っています。

英語落語家として色々な人達とコミュニケーションをしています。どんな分野においても「話す」「書く」「聴く」「読む」のキャッチボールは、欠かすことはできません。皆さん、ご自身の「好き」と周囲の「好き」を是非、この4つの技能で交流してみてください。きっと新たな化学反応、起きると思います。今回がそのきっかけになったなら、嬉しいです。ありがとうございます。

愛知県立半田高等学校

令和4年度 第2回サイエンスコミュニケーション

7月20日(水)14:00~16:45

会場 : 七中記念館

受付 13:30~

講演 14:00~15:30

交流会 15:45~16:45

(交流会は自由参加)



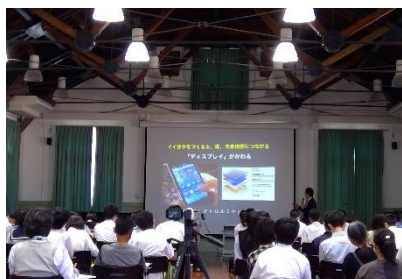
講師

渡邊 誠一郎 教授

名古屋大学大学院
環境学研究科

小惑星探査機はやぶさ2がもたらしたもの

日本が打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ2」は、直径が1 kmの小惑星リュウグウを探査して、表面や地下の試料を採取して持ち帰りました。精密な分析の結果、この試料は太陽系や地球の形成を調べる上で、大変貴重なものであることがわかってきました。はやぶさ2の探査で明らかになった最新の成果をお話いたします。



前回のサイエンスコミュニケーションの様子

